

大阪退職者連合 2023年度定期総会 経過報告・活動方針(案)

総会スローガン

生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！



大阪高齢者集会 (6/7)



近ブロハイキング (10/20)

日 時：2022年11月29日(火) 13:30～

場 所：C I V I 大阪梅田研修センター5階ホール

・ ・ ・ ・ ・ 現行役員体制 ・ ・ ・ ・ ・

NO	役 職	単 会 名	氏 名
1	顧問	連合大阪高齢・退職者の会元会長	岡副 常雄
2	顧問	連合大阪高齢・退職者の会元会長	三ツ木宣武
3	顧問	大阪退職者連合元会長	有元 章博
4	顧問	大阪退職者連合前会長	林 晃
5	顧問	連合大阪会長	田中 宏和
6	会長	自治退大阪市職員退職者会	徳永 秀昭
7	副会長	J R連合大阪府協議会退職者連絡会	青谷 重利
8	副会長	自治退大阪府職退職者会	植本真砂子
9	副会長	基幹労連大阪府本部退職者の会	木下 豊和
10	副会長	連合大阪副事務局長	牟田 和広
11	副会長	J A M大阪シニアクラブ	清水 謙一
12	副会長	自治退大阪交通退職者協議会	中村 義男
14	副会長	電機連合大阪地協・退職者連合	信田 昭也
15	副会長	大阪府退職教職員連絡会協議会	林 誠子
13	副会長	N T T 労組退職者の会大阪支部協議会	山田 健一
16	副会長	大阪府退職女性教職員の会	横川万寿美
17	副会長	大阪退職者連合・東大阪退職者会	米田 治
18	事務局長	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	松本 昌三
19	事務局次長	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	大塚 義彦
20	事務局次長	自治退豊中市職員退職者会	山本 修
21	幹事	J P 労組大阪連絡協議会退職者の会	安達 哲雄
22	幹事	大阪市従業員退職者会	上谷 高正
23	幹事	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	上田 良則
24	幹事	N T T 労組退職者の会大阪支部協議会	掛川つねみ
25	幹事	J A M大阪シニアクラブ	狩谷 道生
26	幹事	自治退大阪市学校給食調理員組合退職者会	黒瀬 順子
27	幹事	自治退大阪市職員退職者会	坂本 眞一
28	幹事	N T T 労組退職者の会大阪支部協議会	坂田 俊郎
29	幹事	私鉄関西地連高齢者・退職者の会連絡協議会	坂野 弘志
50	幹事	電機連合大阪地協・退職者連合	清武 正則
30	幹事	自治退自治労東大阪市退職者会	杉浦 敏次
31	幹事	近畿労働金庫退職者会大阪支部	鈴木 博施
32	幹事	基幹労連大阪府本部退職者の会	高岡 清六
33	幹事	連合大阪	明知 友紀
34	幹事	ダイハツ阜月会	辻 雅文
35	幹事	大阪地域合労O B ・ O G 会	辻本 慶子
36	幹事	印刷労連関西地協退職者の会	中川 馨

37	幹事	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	西浦まつ子
38	幹事	大阪府退職女性教職員の会	橋本佳代子
39	幹事	J A M大阪シニアクラブ	原 正己
40	幹事	近畿中国地方林野関連退職者の会大阪支部	福井 温信
41	幹事	大阪府退職教職員連絡会協議会	藤田 修
42	幹事・監査	交通労連関西OB友愛会	水畑 正雄
43	幹事	連合大阪スタッフユニオンOB会	森安 弘之
44	幹事	J R連合大阪府協議会退職者連絡会	森本 治
45	幹事	自治退大阪交通退職者協議会	山口百合子
46	幹事	運輸労連大阪府連合会退職者の会	山本 治則
47	幹事	関西電力総連高齢・退職者の会	弓庭 秀恭
48	幹事	自治退大阪交通退職者協議会	和多田 博
49	幹事・監査	大阪市水道局退職者会	和田 滋
51	幹事	大阪退職者連合・北摂退職者連合	飯塚 健二
52	幹事	大阪退職者連合・東大阪退職者会	徳野 稔
53	幹事	大阪退職者連合・吹摂退職者会	小川 義博
54	幹事	大阪退職者連合・豊能退職者連合	福原 輝幸
55	幹事	大阪市地域協議会役員OB会	須川伊和夫

※任期途中の幹事会での役員変更の経過

2022年3月22日 第2回幹事会

副会長 香川 功（連合大阪）さん退任 副会長 牟田和広（同）さん就任
 幹事 竹尾 稔（連合大阪）さん退任 幹事 明知友紀（同）さん就任
 幹事 新保市弘（電機退）さん退任 幹事 清武正則（同）さん就任
 幹事 原 正己（吹摂退）さん退任 幹事 小川義博（同）さん就任

2022年5月25日 第3回幹事会

副会長 富森和男（府退教）さん退任 副会長 林 誠子（同）さん就任

2022年10月25日 第6回幹事会

副会長 中井秀禮（NTT退）さん退任 副会長 山田健一（同）さん就任
 坂田俊郎さんと掛川つねみさんは、定期総会で退任交代を確認

活 動 経 過 報 告

大阪退連関係

1. 大阪退連 2022 年度定期総会

日 時：2022²年 11 月 30 日（火）13：30～

場 所：OMMビル 2 階会議室

内 容：第 1 部 記念講演 淑徳大学教授 結城康弘さん
第 2 部 定期総会

参 加：代議員と役員で 104 人

2. 大阪退連第 1 回四役会議

日 時：2022 年 1 月 6 日（木）15：30～

場 所：連合大阪会議室

内 容：各種委員会の設置、介護保険制度自治体要請 他

参 加：13 人

3. 大阪退連第 1 回幹事会 中止

4. 大阪退連第 2 回四役会議

日 時：2022 年 2 月 24 日（木）14：00～

場 所：連合大阪会議室＋ZOOM

内 容：介護保険制度自治体要請、大阪高齢者集会、第 93 回メーデー 他

参 加：14 人

5. 大阪退連第 2 回幹事会

日 時：2022 年 3 月 22 日（火）

場 所：ドーンセンター特別会議室 5 階

内 容：第 93 回メーデー、メーデーを語る会、大阪高齢者集会
ロシアのウクライナ軍事侵攻に関する取り組み 他

参 加：45 人

6. 介護保険制度大阪府との意見交換会

日 時：2022 年 4 月 18 日（月）10：30～

場 所：エル連合南館 4 階会議室

内 容：介護保険制度の意見交換

参 加：4 人 大阪府側 6 人

7. 大阪退連第 3 回四役会議

日 時：2022 年 4 月 28 日（木）14：00～

場 所：連合大阪会議室

内 容：第 93 回メーデー、近ブロハイキング、高齢者集会 他
参 加：13 人

8. 第 93 回大阪地方メーデー【WEB 併用】

日 時：2022 年 5 月 1 日（日）10：00～11：20
場 所：大阪城公園・太陽の広場
参 加：9,300 人

9. 大阪のメーデーを語る会

日 時：2022 年 5 月 1 日（日）12：00～
場 所：ミライザカ O B P 店
参 加：39 人

10. 2022 大阪高齢者集会

日 時：2022 年 6 月 7 日（火）13：10
場 所：ドーンセンター
内 容：第 1 部 弦楽四重奏
第 2 部 大阪高齢者集会
参 加：250 人

11. 大阪退連第 4 回四役会議

日 時：2022 年 6 月 23 日（木）15：00
場 所：連合大阪会議室
内 容：近ブロハイキング、大阪退連定期総会 他
参 加：11 人

12. 大阪退連第 4 回幹事会

日 時：2022 年 7 月 25 日（月）11：00～
場 所：錦城閣
内 容：近ブロ定期総会・ハイキング、大阪退連 2023 年度定期総会 他
参 加：37 人

13. 大阪退連女性役員懇談会

日 時：2022 年 8 月 8 日（月）15：00
場 所：連合大阪中会議室
参 加：女性役員・会長・事務局長・事務局次長

14. 5 地域協議会事務局長との意見交換会

日 時：2022 年 8 月 18 日（木）16：00
場 所：連合大阪中会議室
参 加：5 地域事務局長・会長・事務局長・事務局次長

15. 大阪退連第 5 回四役会議

日 時：2022 年 8 月 25 日(木) 15：00～

場 所：連合大阪会議室

内 容：近ブロ定期総会、ハイキング、大阪退連定期総会、介護保険自治体要請 他

参 加：13 人

16. 大阪退連第 5 回幹事会

日 時：2022 年 9 月 27 日(月) 13：30～

場 所：ドーンセンター4 階大会議室①

内 容：近ブロ・ハイキング、大阪退連 2023 年度定期総会 他

参 加：41 人

17. 大阪退連第 6 回四役会議

日 時：2022 年 10 月 4 日(木) 13：00～

場 所：シティプラザ大阪会議室

内 容：大阪退連定期総会 他

参 加：13 人

18. 大阪退連第 6 回幹事会

日 時：2022 年 10 月 25 日(火) 13：30～

場 所：ドーンセンター4 階大会議室①

内 容：大阪退連 2023 年度定期総会、30 周年記念の取り組み 他

参 加：48 人

近ブロ退連関係

1. 退職者連合近畿ブロック第 1 回幹事会 【書面開催】

日 時：2022 年 1 月 24 日(月)

内 容：人事案件を確認(徳永会長代表幹事、松本事務局長の就任を確認)

2. 退職者連合近畿ブロック事務局長会議

日 時：2022 年 4 月 18 日(月) 14：00～

場 所：連合大阪会議室

内 容：近ブロ退連の年間活動計画について

参 加：8 人

3. 退職者連合近畿ブロック第 2 回幹事会

日 時：2022 年 6 月 16 日(木) 14：00

場 所：東天紅 OMM 店

内 容：近ブロハイキング、第 3 回幹事会について他

参 加：全体で 20 人、大阪から 4 人

4. 退職者連合近畿ブロック ハイキングの下見

日 時：2022 年 7 月 28 日(水) 10：40～

場 所：梅小路公園（京都）

参 加：全体で 29 人、大阪から 13 人

5. 退職者連合近畿ブロック 第 3 回幹事会

日 時：2022 年 9 月 1 日(木) 11：00

場 所：シティプラザ大阪 4 階会議室

内 容：近ブロハイキング、定期総会について他

参 加：全体で 23 人、大阪から 6 人

6. 退職者連合近畿ブロック 第 29 回定期総会について

日 時：2022 年 10 月 18 日（火）13：30～

場 所：C I V I 大阪梅田研修センター5 階ホール

内 容：2022 年度経過報告・2023 年度活動方針ほか

参 加：86 人

7. 退職者連合近畿ブロック「秋の京都・古都をめぐるハイキング」について

日 時：2022 年 10 月 20 日（木）11：30～

場 所：京都市「梅小路公園 芝生広場」ほか

内 容：2021 年以降、3 年ぶりの近ブロハイキング

参 加：近畿 2 府 4 県で 998 人＋役員

日本退連関係

1. 日本退職者連合第 3 回幹事会

日 時：2022 年 1 月 12 日（水）13：30～15：00

場 所：東京グリーンパレス

参 加：徳永会長、林近ブロ代表幹事

2. 日本退職者連合次世代継承委員会【WEB 開催】

日 時：2022 年 1 月 26 日（水）14：00～16：00

内 容：「井手英策さんと未来を語る」

次世代ビジョン（中間報告）の内容検討 他

参 加：林次世代継承委員会委員

3. 日本退職者連合政策・制度要求実現 2.10 院内集会【中止】

日 時：2022 年 2 月 10 日（木）

4. 日本退職者連合第 4 回幹事会

日 時：2022 年 3 月 23 日（木）13：30～

場 所：連合会館会議室

内 容：第 26 回定期総会の開催について、他

参 加：徳永会長

5. 日本退職者連合第 5 回幹事会

日 時：2022 年 5 月 18 日（水）13：30～

場 所：連合会館会議室

内 容：第 26 回定期総会対策について、他

参 加：徳永会長 幹事会終了後に次世代継承委員会が開催、林晃委員が参加

6. 日本退職者連合全国 事務局長会議

日 時：2022 年 5 月 19 日（木）13：30～

場 所：東京グリーンパレス

内 容：政策・制度要求、組織拡大の取り組み、他

参 加：松本事務局長

7. 日本退連全国組織代表者会議

日 時：2022 年 7 月 13 日（水）13：30

場 所：連合会館会議室

参 加：徳永会長、松本事務局長が出席

8. 日本退連結成 30 周年記念レセプション

日 時：2022 年 7 月 13 日（水）18：00

場 所：都市センターホテル

参 加：徳永会長、松本事務局長、林顧問が出席

9. 日本退連第 26 回定期総会

日 時：2022 年 7 月 14 日（水） 9：30

場 所：連合会館会議室

参 加：徳永会長、松本事務局長が出席

10. 日本退連第 1 回幹事会

日 時：2022 年 8 月 31 日（水）13：30～

場 所：連合会館会議室

内 容：2022 年全国高齢者集会、地方代表者会議ほか

参 加：徳永会長

11. 日本退連 2022 年全国高齢者集会

日 時：2022 年 9 月 14 日（水）13：00～

場 所：新宿文化センター

参 加：徳永会長

12. 日本退連地方代表者会議

日 時：2022 年 9 月 15 日（木） 9：00～

場 所：ルポール麴町

参 加：徳永会長

13. 日本退連第2回幹事会

日 時：2022年11月16日(水) 13:30～

場 所：連合会館会議室

内 容：当面の活動方針、2022年全国高齢者集会の総括ほか

参 加：徳永会長

関係団体の取り組み関係

2022年

<4月>

22日(金) 10:30 大阪市職員退職者会 2022年度拡大幹事会 (ヴィアーレ大阪)

<5月>

14日(土) 10:30 大阪市学校給食調理員退職者会第33回定期総会 (大成閣)

20日(金) 10:30 大阪市退職公務員協議会第62回定期総会 (大成閣)

<6月>

4日(土) 10:30 大阪府職員退職者会第32回定期総会 (PLP会館)

20日(月) 10:30 基幹労連大阪府本部退職者の会第15回総会 (キャッスルホテル)

<8月>

20日(土) 10:00 J P 労組大阪連協退職者の会第8回総会 (エル大阪 606 会議室)

20日(土) 14:00 第21回東大阪退職者会総会 (東大阪市立社会教育センター会議室)

<9月>

28日(水) 15:00 私鉄関西退職者の会第36回定期総会 (大阪東急REIホテル)

30日(金) 17:00 京都退連 30周年記念式典 (ルビノ京都堀川)

<10月>

8日(土) 10:00 JAMシニアクラブ第22回年次総会 (JAM西日本会館 6階)

14日(金) 13:00 NTT労組退職者の会第25回定期総会 (大阪リバーサイドホテル)

16日(日) 10:00 第57回大阪社会運動物故者顕彰者追悼式 (大阪城コンベンションホール)

19日(水) 13:30 自治退大阪第37回定期総会 (PLP会館会議室)

28日(金) 13:00 連合大阪地方委員会 (シティプラザ大阪)

<11月>

8日(火) 16:30 大阪市地域協議会第9回地域委員会 (ヴィアーレ大阪)

13日(日) 10:30 水道局退職者会第62回定期総会 (ヴィアーレ大阪)

2022年度 会計決算報告

2022年度一般会計決算 (2021年9月1日～2022年8月31日)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
前期繰越金	2,784,949	2,784,949	0	
会費	1,447,000	1,447,000	0	各退職者組織の年会費
交付金	3,900,000	4,000,000	-100,000	連合大阪交付金
雑収入	50,000	382,167	-332,167	祝儀・利息・配当・美術展委託料
合 計	8,181,949	8,614,116	-432,167	

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
会議費	1,200,000	782,175	417,825	幹事会、四役会議の会場代・交通費等
行事費	1,600,000	643,716	956,284	高齢者集会、近プロ行事、定期総会等
活動費	2,800,000	2,195,740	604,260	事務局活動費・交通費、諸行動費等
組織対策費	500,000	138,738	361,262	総会等祝金・地区組織・女性役員連絡会他
教宣費	660,000	608,300	51,700	ふれあい大阪印刷費
通信費	10,000	0	10,000	はがき代等
分担金	50,000	50,000	0	退職者連合年会費
雑費	200,000	0	200,000	事務用品・事務機器代等
拠出金	1,000,000	1,000,000	0	特別会計への拠出
予備費	161,949	0	161,949	
合 計	8,181,949	5,418,669	2,763,280	

収入合計から支出合計を差し引いた 3,195,447円 を次年度繰越金とします。

2022年度特別会計決算 (2021年9月1日～2022年8月31日)

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
前期繰越金	2,918,564	2,918,564	0	
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
雑収入	100	11	89	利息
合 計	3,918,664	3,918,575	89	

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
周年事業支出	0	0	0	
次年度繰越金	3,918,664	3,918,575	89	
合 計	3,918,664	3,918,575	89	

2022年度 会計監査報告

会計監査報告書

大阪退職者連合

会 長 徳永 秀昭 様

大阪退職者連合 2022 年度会計（一般会計・特別会計）の監査結果を、下記のとおり報告します。

記

1. 期 間

2021 年 9 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日まで

2. 監査書類

現金、預金通帳及び出資証書、金銭出納簿、収支伝票綴、収支仕分帳

3. 監査日と場所

日 時 2022 年 9 月 27 日（火）幹事会終了後

場 所 ドーンセンター4 階大会議室

4. 所 見

監査の結果、決算報告書はすべての収支を正確に表示し、証拠書類により帳簿集計などは照合合致し、正しく処理されていることを認めます。

以上

会計監査 水畑 正雄 ㊞

会計監査 和田 滋 ㊞

I. はじめに

長期化している新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、緊急時における医療提供体制の脆弱性や、所得格差と貧困など日本社会の問題を浮き彫りにしました。ウイズコロナ・ポストコロナに向けて実効性が伴う対応を求めるとともに、社会全体の課題にも取り組んでいかなければなりません。

大阪退職者連合（以下、大阪退連）は、日本退職者連合の運動方針を基本とし、連合大阪、退職者連合近畿ブロック協議会（以下、近畿ブロック）などと連携を密にして、今後1年間活動を行います。

II. 取り巻く情勢について

1. ロシアのウクライナ軍事侵攻

2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領は「ウクライナの政権により迫害とジェノサイドにさらされてきた人々を保護する」との口実で隣国ウクライナに対する軍事侵攻を開始しました。攻撃は軍事施設に留まらず、市街地が戦火に見舞われ、民間人を含む多くの犠牲者が生じています。またロシア軍は欧州最大級の規模を擁するザポロジエ原子力発電所関連施設を攻撃して制圧しました。プーチン大統領はロシア軍の核抑止部隊に対して態勢の強化を指示するなど核兵器による威嚇も強めています。

軍事侵攻は、軍事力による現状変更の試みが決して過去のものではないこと、そして軍拡競争が戦争を誘発することを明らかにしました。ロシアの侵略行為に抗議し、世界各国でウクライナ市民の命と自由を守るため、反戦平和の運動が拡大しています。一方でロシアは、9月27日にウクライナの4州で行った「住民投票」により、領土を一方的にロシアへ併合し、多くの住民を戦争に徴兵しようとしている。これに抗して、ウクライナは、NATOへの加盟申請を行いました。

国際社会は国家の政策手段としての戦争を禁止する規範作りに叡智を集め、国連は2018年に軍縮アジェンダを発表して、未来世代のための軍縮を訴えています。EU各国は国防予算の増額に舵を切り、フィンランドやスウェーデンはNATOへの加盟申請を行いました。一方、日本を取り巻く東アジアにおいても、中国と台湾問題や北朝鮮の度重なるミサイル発射など緊張が高まっています。いま改めて軍縮の推進と核兵器廃絶が人類の危急存亡の課題となっています。

2. インフレに身構える世界経済

世界経済は、米国や欧州で一過性で見られていた物価の上昇が長期に継続する事態となっています。この背景には、新型コロナ対策としての行動規制が緩和されたことによる経済の回復過程で、消費の増加や雇用のひっ迫による賃金上昇などの要因が考えられ、量的緩和の縮小・廃止や金利引き上げなどインフレ抑制が経済政策の中心になっています。さらにロシアのウクライナ侵攻に対する経済制裁の一環として、ロシアからの原油や天然ガスなどの輸入を禁止する措置が資源価格高騰の懸念材料となっています。米国FRB（連邦準備制度理事会）は、9月22日に3回目の0.75%の利上げに踏み切りました。欧州中央

銀行（ECB）は、ロシアのウクライナ侵攻で景気の先行きに不透明感が強まっているものの、勢いづくインフレを抑えることを優先して量的緩和政策の縮小を加速しています。一方新興国では、先進国の中央銀行による金利引き上げが資本流出を促し、これにともなう発生する通貨安やインフレ、資本流出対策としての利上げにともなう景気停滞が懸念されます。

3. 日本の経済動向とコロナ感染症

国内経済の動向をみると、2021年の実質成長率は+1.7%で、前年の△4.5%からプラスに転じましたが、回復力が鈍いのはワクチン普及に時間がかかったうえ、脆弱な医療体制が大きな要因です。行動制限などが消費者の自粛マインドを高め、旅行や外食などサービス関連の需要を押し下げる結果となりました。またコロナ禍は労働市場へも打撃を与えており、1年以上失業状態にある人は2021年10～12月期で流行前に比べ31%増の64万人と、リーマン危機以来の増加が続いています。中小企業では債務負担が増えています。20年3月に始まった実質無利子・無担保融資の返済が本格化し、保証付き融資では焦げ付きも増加しつつあります。

コロナ禍の影響で特徴的なことはジェンダー格差の大きさです。感染症の拡大は対人サービス業を直撃すると同時に、医療・福祉産業では業務が極度に繁忙化しました。それらは女性が多くを占める職種で、非正規雇用者も少なくありません。「労働力調査」の2020年平均結果によれば、女性就業者の12.8%が飲食業やサービス業に就き、21.9%が医療・福祉分野に従事しています。医療・福祉分野の就業者の4分の3は女性が占めています。コロナ禍で仕事を失ったのは多くが女性であり、ケア労働の分野で現場を支えているのも女性です。こうした中でメンタルの不調を訴える女性が増え、女性の自殺者数も増加しています。

また、コロナ感染症対策においても、感染者数全数把握、2類相当から5類相当への移行、経口薬の承認問題など多くの議論がされていますが、政府と各自治体や専門家などの間で意見の相違もあり、このままで推移すれば次の感染拡大に向けての対策に国民の不安が生じることから、早急な感染症対策の具体化が必要です。

4. 全世代型社会保障制度にみる将来不安

2022年3月に全世代型社会保障構築会議が開かれ、子育て支援や厚生年金、健康保険の適用範囲の拡大といった「人への投資」が当面の論点とされました。全世代型社会保障の改革をめぐっては2020年12月に方針をまとめましたが、75歳以上の医療費窓口負担に2割を新設するなど、一部受益者の負担増を決めただけで、抜本的な対策は先送りされました。構築会議では「人への投資」に関して具体案をまとめ、「新しい資本主義」の実行計画や経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）に反映させるとしています。

しかし、骨太の方針の柱である、人への投資の重点として、「賃金引き上げの推進」とされていますが、その具体策が見えてきません。また、「自己負担2割標準」「要介護1・2の総合事業への移行」「ケアプランの有料化」など、史上最悪の介護保険改悪の議論がされています。

医療や年金のような従来型の社会保障に加え、子どもの貧困、育児・介護、教育や住宅など格差社会が生み出した新しいリスクへの対応が迫られており、地域包括ケアシステムの拡充にも公助の役割が重要性を増しているにも関わらず、生活するに足りない年金や介

護職員の待遇改善など喫緊の課題にも十分に応えられない内容では、持続可能な制度とは程遠いと言わざるを得ません。また、健康保険制度に関連してマイナンバーカードを健康保険証として利用できる制度は、2021 年 10 月から本格運用が始まりました。健康状態をはじめとした多くの個人情報、内閣総理大臣を長として各省庁に対する司令塔となるデジタル庁が所管するマイナンバーカードに過度に集積することは、行政の手続きの改善になりますが、一方で監視社会化につながらない運用となるよう取り組みが必要です。

5. 日本の政治状況

2022 年 7 月に施行された第 26 回参議院通常選挙により、衆議院・参議院ともに、自民党・公明党が定数の 3 分の 2 を超えました。憲法改正をめぐる動きに注視しなければならないとともに、ロシアのウクライナ侵攻や台湾海峡の緊張などで大きく浮上している防衛費増額問題にも大きな関心を寄せなければなりません。

8 月下旬に米ニューヨークの国連本部で開かれていた核拡散防止条約（NPT）再検討会議は核軍縮の方向性などを示す最終文書が核保有国ロシアの反対で採択できず、7 年前の前回に引き続き 2 回連続で決裂し閉幕しました。むろん、決裂の責めはロシアが負わなければなりませんが、核保有国と非保有国の橋渡しをする日本政府の存在感がありませんでした。首相として初めて会議に出席し、演説した岸田首相は、ロシアを批判しつつも最終文書案に他の国々が反対しなかったことを評価しました。岸田首相は、半世紀以上に歯止めとなっていた NPT 体制が限界になっていることを深刻に受け止めなければなりません。

差し迫った政治課題として、「旧統一教会問題」・「国葬問題」について適切な解決を図るとともに、国民生活に大きな影響を与えている「とまらない円安の進行」や「物価高と賃金・所得」について、連合と連携を深めて現退一致の取り組みが重要です。

6. 岸田内閣の「新しい資本主義」

岸田内閣は当面の経済政策の柱として「成長と分配の好循環」の推進を掲げ「新しい資本主義実現会議」を立ち上げました。内閣府の資料で、家計所得中央値がすべての年齢層で大きく低下して、中間層の没落と貧困の拡大が明らかにされましたが、コロナ禍でその実態が顕在化しています。一方で企業の内部留保は増加を続け、2021 年度末に 500 兆円を超えています。このいびつな企業部門の貯蓄超過（黒字）は従来、政府の財政赤字と経常収支の黒字（海外の赤字）で帳尻を合わせてきました。しかし最近は資源価格高騰や円安の進行で経常収支が赤字基調となっており、このままでは勤労者と政府が、突出した企業黒字の穴埋めをすることになります。コロナ禍での経済対策でも、日銀による社債の購入、GOTO トラベル・GOTO イートによるばら撒きなど企業の救済措置に重点が置かれた結果、企業の収益改善だけが際立っています。

「新しい資本主義」では、この歪み切った分配の構造を是正し、大企業から勤労者にお金を回すことが喫緊の課題なのです。しかし「人への投資」は企業の生産性向上の手段とされ、「新たな官民連携」で付加価値を引き上げるなど、従来の新自由主義的成長戦略を継承する政策ばかりで、新しい変革の兆しは見えて来ません。今年 6 月には企業経営者や学識者などによる「令和国民会議（令和臨調）」が発足しました。「統治構造改革」「財政・社会保障」「国土構想」を柱に議論を進めるとされますが、かつて規制緩和など新自由主義政策の旗振り役であった臨調の復活といえます。

7. 大阪の政治状況

2022年7月10日投開票で施行された第26回参議院通常選挙の結果は、比例区では9人の組織内候補者のうち8人の当選となりました。また、近畿の6府県で選挙区の当選者の内訳は、立民1人、自民5人、公明2人、維新3人となりました。選挙区選挙結果の特徴は、「日本維新の会」が大阪を軸に勢力を拡大していることです。今後の3年間は国政選挙が予定されないことから、当面の政治情勢が定まりました。

こうした情勢のなかで、来年は統一自治体選挙を迎えます。自治体選挙は、連合の支持・支援する立憲民主党・国民民主党にとっても足元の支持勢力を強化するための大変重要な選挙です。また、大阪府知事・大阪市長・堺市長の3つの首長選が大阪の行方を決める重要な選挙として実施されます。今一度、組合員が一丸となって取り組む体制の構築で、「維新の会」を凌駕する戦線が必要です。大阪退職者連合は、連合大阪と現退一致で、政治の流れを変える取り組みを強化します。

Ⅲ. 取り組みの重点と方向

1. 組織の拡大・強化および女性の参画促進

- (1) さまざまな課題に取り組むためには、何より強固な組織体制が必要です。日本退職者連合は、2012年に策定した「組織拡大・強化アクションプラン」による「100万人会員」体制をめざし取り組みを行っています。
- (2) 「大阪退連」の2020年の実態調査では、2018年より約7百人の会員が減少しています。退職者連合会員の加入促進に向けて、現役と連携を密にし、「現退対話」「組織拡大強化推進委員会」等の活動を強化します。
- (3) 大阪退連は、2017年に「地区退職者組織の組織拡大・強化の「めざす方向」について」を確認してきました。2018年以降、この方針の具体的化に向け取り組みを行っており、2020年度に大阪市地域役員OB会の組織加盟が実現したことを踏まえ、今年も取り組みを強化します。地域における取り組みは「継続」することが重要で、5地区・地域退職者組織と意見交換を行い、連合大阪地域・地区協議会と連携し取り組みます。
- (4) また女性会員の拡大については、女性役員懇談会を開催し意見交換を継続しました。これらの取り組みを積み重ね、会員・役員の拡大に取り組みます。

2. 連合大阪と連携をした取り組みの強化

- (1) 大阪退連の具体的活動展開に当たっては、連合大阪を中心に現役組織と連携して取り組みます。特に「社会保障制度改革・改善」などの国民的課題の取り組みに当たっては、現役と退職者が密接に連携していくことが不可欠です。
- (2) 連合・連合大阪が進める大衆行動やキャンペーンと、引き続き連携を図ります。さらに「組織の拡大・強化」および「環境活動」などの取り組みについても、連合・各退職者組織と連携して取り組みます。
- (3) また、近年自然災害が多発し、多くの被害が出ています。災害が発生すれば高齢者に、より多くの被害が及びます。連合大阪、連合近畿ブロック協議会と連携し、被害防止に向けて日常的な防災意識の活動や、災害が発生した際の情報交換・情報共有に努めます。

3. 「近畿ブロック」と連携した取り組みの強化

- (1) 近畿ブロックは、「近畿はひとつ」を合言葉に、近畿 6 府県の退職者組織が連携を密に活動しており、日本退職者連合の中でも他のブロック活動に例を見ない活動を行っています。
- (2) とくに、毎年各府県の持ち回りで実施している「秋のハイキング」は、「健康対策・行楽行事」のみならず、近畿 6 府県の結束の証として根付き、また 1 年に一度の「仲間との顔合わせ」の場としての役割を果たしています。今年度も近畿ブロックと連携し、積極的な取り組みを図ります。
- (3) 日本退職者連合は、2018 年度よりブロック活動の強化のため、ブロック代表を日本退職者連合幹事会に参加させることにし、活動の活性化をめざしています。これらの方向を踏まえ、近畿ブロックの交流を一層活性化させます。

IV. 具体的な活動

1. 地方自治体への政策提言・要請活動

- (1) 大阪府及び府域の全自治体に対して、「2023 年度介護保険制度・高齢者介護保健福祉制度等に係る要請」を行い、回答を求めます。大阪府をはじめ政令市・中核市などに意見交換の場を要請し、実態把握と制度充実に努めます。
- (2) 大阪府・市町村に対する政策全般については、連合大阪の「提言・要求」を作成する政策委員会に参画して意見反映を行います。

2. 「2023 大阪高齢者集会」の開催

「2023 大阪高齢者集会」は、2023 年 6 月 6 日（火）にドーンセンターで開催します。前年度は参加者を半数とする開催となりましたが、今年こそ 500 人の仲間が結集して、連合大阪と連携し「現退一致」の取り組みを進めます。

3. 政治活動の推進

来年は統一自治体選挙を迎えます。自治体選挙は、連合の支持・支援する立憲民主党・国民民主党にとっても足元の支持勢力を強化するための大変重要な選挙です。また、大阪府知事・大阪市長・堺市長の 3 つの首長選が大阪の行方を決める重要な選挙として実施されます。今一度、組合員が一丸となって取り組む体制の構築で、「維新の会」を凌駕する戦線が必要です。大阪退職者連合は、退職者連合近畿ブロック協議会と連携・協力して、高齢者と働く者のための政治を実現するため、連合・連合大阪と「現退一致」の取り組みを進めることとします。

4. 組織拡大と強化

- (1) 日本退職者連合の「組織拡大・強化アクションプラン（長期目標 300 万人会員、中期目標 100 万人会員計画）に基づき取り組みを行います。
- (2) 組織拡大に向けて、連合大阪と連携し、以下の具体的活動を行います。
 - ① 「組織拡大・強化委員会」の活動を強化します。
 - ② 現役組織と連携を密にし、協力を得ながら会員の拡大に努めます。
 - ③ 組織強化の活動
 - ・ 組織拡大・強化に向けて、連合大阪役員との意見交換を活発化させます。

- ・地区組織の拡大強化に向けて「地区組織連絡会」を開催します。
- ・連合大阪地域協・地区協と連携を強めます。また連合大阪地域「役員OB会(退職者を含む)」と交流を活発化させ対話を深め、今後の組織連携の具体的な在り方を検討していきます。

5. ジェンダー平等推進の取り組みについて

- (1) 女性役員懇談会で意見交換を定例化・活発化させてきました。これらの取り組みを継続させ、女性会員・役員の拡大に努めます。さらに、連合大阪のジェンダー平等の取り組みに参加・参画を進めます。
- (2) ジェンダー平等推進を進める学習会を実施し理解を深めることとし、各種会議・行事等への女性の参加を、30%を目標として積極的にすすめます。

6. 平和運動・環境運動

- (1) 各退職者組織が現役と連携して、連合の平和運動（広島・長崎・沖縄・北方領土）に取り組むこととします。
- (2) 「連合大阪の森」再生プロジェクト等環境運動の一環として取り組みを行った「連合大阪高退会結成5周年記念植樹」の雑木伐採等の整備を、連合大阪と連携し取り組みます。

7. 教宣活動

- (1) 機関紙「ふれあい大阪」は年2回定例発行します。
- (2) 政策課題、退職者の健康・生活関連などに関する「講演・研修会」を開催します。

8. 労働福祉団体の活動協力

こくみん共済coopの生涯保障設計の推進、労働金庫の「いきいき倶楽部」の推進、労福協の諸活動に取り組みます。

9. 会員交流事業の活性化

会員親睦・交流を深めるための活動を行います。具体的には四役会議、幹事会で協議します。

10. 年間活動計画

- (1) 幹事会は、1月、3月、5月、7月、9月、10月の第4火曜日の14時開催を基本とします。
- (2) 四役会は、「1月（連合大阪新春の集い開催日）」、2月、4月、6月、8月、10月の第4木曜日の14時開催を基本とします。また必要により随時開催します。
- (3) 女性役員懇談会を8月～9月に実施します。
- (4) 「2023 大阪高齢者集会」
日 時：2023年6月6日（火）午後～（毎年6月第一火曜日を定例化）
場 所：ドーンセンター7階ホール
- (5) 地区組織との懇談会及び連合大阪地域協議会との懇談会を、8月～9月に実施します。
- (6) 環境活動
連合大阪の要請を受けて、現退一致で環境行動を実施します。

(7) 結成 30 周年記念の取り組みについて

1992 年の「連合大阪高齢退職者の会」(現在の大阪退職者連合)の結成から 30 年を迎えました。これを機に、30 周年記念の取り組みを企画します。

(8) その他

その他の親睦交流行事、動員要請などは幹事会、四役会で協議します。

第2号議案 2023年度予算(案)

2023年度一般会計予算案(2022年9月1日～2023年8月31日)

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算	前年決算	差額	摘要
前期繰越金	3,195,447	2,784,949	410,498	
会費	1,447,000	1,447,000	0	各退職者組織の年会費
交付金	4,000,000	4,000,000	0	連合大阪交付金
雑収入	380,000	382,167	-2,167	祝儀・利息・配当
合計	9,022,447	8,614,116	408,331	

【支出の部】

科目	予算	前年決算	差額	摘要
会議費	1,200,000	782,175	417,825	幹事会、四役会議の交通費等
行事費	1,600,000	643,716	956,284	高齢者集会、近プロ行事、定期総会等
活動費	2,800,000	2,195,740	604,260	事務局活動費・交通費、諸行動費等
組織対策費	500,000	138,738	361,262	総会等祝金・地区組織・女性役員連絡会他
教宣費	660,000	608,300	51,700	ふれあい大阪印刷費
通信費	10,000	0	10,000	はがき代等
分担金	50,000	50,000	0	退職者連合等年会費
雑費	200,000	0	200,000	事務用品・事務機器代等
拠出金	1,500,000	1,000,000	500,000	特別会計への拠出
予備費	502,447	0	502,447	
合計	9,022,447	5,418,669	3,603,778	

2023年度特別会計予算案(2022年9月1日～2023年8月31日)

【収入の部】

科目	予算	前年決算	差額	摘要
前期繰越金	3,918,575	2,918,564	1,000,011	
繰入金	1,500,000	1,000,000	500,000	
雑収入	100	11	89	利息
合計	5,418,675	3,918,575	1,500,100	

【支出の部】

科目	予算	前年決算	差額	摘要
周年事業支出	4,000,000	0	4,000,000	
次年度繰越金	1,418,675	3,918,575	-2,499,900	
合計	5,418,675	3,918,575	1,500,100	

第3号議案 2022・2023年度の役員の一部交代について

NO	役 職	単 会 名	氏 名
1	顧問	連合大阪高齢・退職者の会元会長	岡副 常雄
2	顧問	連合大阪高齢・退職者の会元会長	三ツ木宣武
3	顧問	大阪退職者連合元会長	有元 章博
4	顧問	大阪退職者連合前会長	林 晃
5	顧問	連合大阪会長	田中 宏和
6	会長	自治退大阪市職員退職者会	徳永 秀昭
7	副会長	J R連合大阪府協議会退職者連絡会	青谷 重利
8	副会長	大阪市地域役員OB会	上田 良則 ○
9	副会長	自治退大阪府職退職者会	植本真砂子
10	副会長	基幹労連大阪府本部退職者の会	木下 豊和
11	副会長	連合大阪副事務局長	牟田 和広 ○
12	副会長	J A M大阪シニアクラブ	清水 謙一
13	副会長	自治退大阪交通退職者協議会	中村 義男
14	副会長	電機連合大阪地協・退職者連合	信田 昭也
15	副会長	大阪府退職教職員連絡会協議会	林 誠子 ○
16	副会長	N T T労組退職者の会大阪支部協議会	山田 健一 ○
17	副会長	大阪府退職女性教職員の会	横川万寿美
18	事務局長	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	松本 昌三
19	事務局次長	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	大塚 義彦
20	事務局次長	自治退豊中市職員退職者会	山本 修
21	幹事	J P 労組大阪連絡協議会退職者の会	安達 哲雄
22	幹事	N T T労組退職者の会大阪支部協議会	有元 正行 ○
23	幹事	大阪市従業員退職者会	上谷 高正
24	幹事	N T T労組退職者の会大阪支部協議会	岡田ゆきゑ ○
25	幹事	J A M大阪シニアクラブ	狩谷 道生
26	幹事	自治退大阪市学校給食調理員組合退職者会	黒瀬 順子
27	幹事	自治退大阪市職員退職者会	坂本 眞一
28	幹事	私鉄関西地連高齢者・退職者の会連絡協議会	坂野 弘志
29	幹事	電機連合大阪地協・退職者連合	清武 正則 ○
30	幹事	自治退自治労東大阪市退職者会	杉浦 敏次
31	幹事	近畿労働金庫退職者会大阪支部	鈴木 博施
32	幹事	基幹労連大阪府本部退職者の会	高岡 清六
33	幹事	連合大阪	明知 友紀 ○
34	幹事	ダイハツ阜月会	辻 雅文
35	幹事	大阪地域合労OB・OG会	辻本 慶子
36	幹事	印刷労連関西地協退職者の会	中川 馨

37	幹事	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部	西浦まつ子
38	幹事	大阪府退職女性教職員の会	橋本佳代子
39	幹事	J A M大阪シニアクラブ	原 正己
40	幹事	近畿中国地方林野関連退職者の会大阪支部	福井 温信
41	幹事	大阪府退職教職員連絡会協議会	藤田 修
42	幹事・監査	交通労連関西OB友愛会	水畑 正雄
43	幹事	連合大阪スタッフユニオンOB会	森安 弘之
44	幹事	J R連合大阪府協議会退職者連絡会	森本 治
45	幹事	自治退大阪交通退職者協議会	山口百合子
46	幹事	I K I I K I ライフクラブ大阪府支部 本田 敬一	由中 庸右
47	幹事	運輸労連大阪府連合会退職者の会	山本 治則
48	幹事	関西電力総連高齢・退職者の会	弓庭 秀恭
49	幹事	自治退大阪交通退職者協議会	和多田 博
50	幹事・監査	大阪市水道局退職者会	和田 滋
51	幹事	大阪退職者連合・北摂退職者連合	飯塚 健二
52	幹事	大阪退職者連合・東大阪退職者会	徳野 稔
53	幹事	大阪退職者連合・吹摂退職者会	小川 義博
54	幹事	大阪退職者連合・豊能退職者連合	福原 輝幸
55	幹事	大阪市地域協議会役員OB会	須川伊和夫

○ 2021年秋会以降の変更者